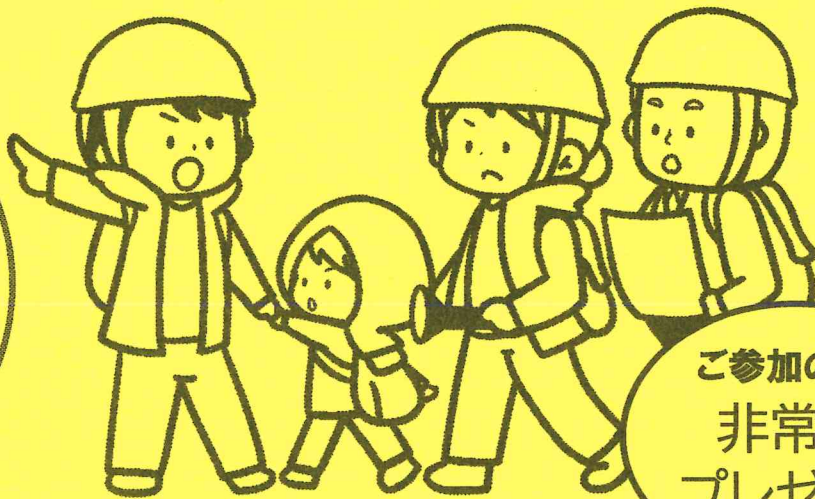


令和8年

1/25(日)

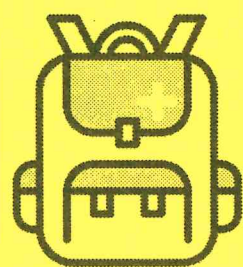
10:00~12:00



ご参加の方に  
非常食  
プレゼント

定員:100 名

# 防災講座



会場:山口市阿知須健康福祉センターおげんきかん

講演:守ろうわが身 備えよう自然災害

講師:いのちを守る防災危機管理協会 代表  
防災士・防災アドバイザー

幸坂 美彦 氏



1. 過去の災害について
2. 現在から考えられる災害について
3. 避難をどうする?

- ・いつ、だれと、どこへ、どのように、何をもって
- ・わが家の非常持出品チェック!

※非常持出品があれば  
お持ちください  
(なくても問題ありません)

消防団による  
水消火器  
消火体験



防災ビンゴ

早く揃うと防災グッズの  
プレゼントもあります



主催:山口市社会福祉協議会阿知須出張所 共催:山口市役所阿知須総合支所 阿知須地区社会福祉協議会

後援:山口市消防団阿知須方面隊



近年の阿知須地域で甚大な被害を受けた台風として、平成3年の台風19号は、阿知須小学校講堂の屋根約5分の1が吹き抜ける被害など、瞬間風速44メートルを記録する大きな被害を受けました。また、平成11年の台風18号は、台風襲来時、大潮の満潮に重なり浸水被害が多数発生しました。次に平成16年の台風18号では、瞬間風速40.5メートルを記録し、強風被害で、山口きらら博記念公園のやまぐち富士商ドームも破損しました。

阿知須地域は、海沿いで、津波や台風、低気圧による高波、高潮などを原因とした災害に遭うリスクがあります。こうした「海の災害」の多くは、実は事前に発生が予想できるので、自分や身近な人の命を守るために、日ごろから防災意識を持って備えておくことが重要になります。

また、地震災害についても、令和6年の能登半島地震では最大震度7を観測し、その後、奥能登豪雨と続き、人的被害や住家被害が発生しました。

こうした災害による被害を見据え、私たちは一人ひとりが危機感を持ち「自身の身は自分で守る。」という意識を持つことが大切です。防災士・防災アドバイザーである講師をお招きし、正しい知識を深め、災害に備えましょう。

<講師:幸坂美彦氏 来歴>

1972 年	・消防職員	現職	・いのちを守る防災危機管理協会 代表
1995 年	・山口県消防学校職員		・幸坂総合教育研究所 代表
2008 年	・幸坂総合教育研究所設立		・日本防火・防災協会専任講師
2018 年	・いのちを守る防災危機管理協会		・防災士養成講座講師
○専門 特殊災害(放射線、化学剤、生物剤、テロ)対策、危機管理全般			
○資格 ・地域環境アドバイザー ・防災士・防災アドバイザー			
○著書 ・自主防災組織の手引き「最初の一步」・保育施設の危機管理対応ハンドブック			
・学校における危機管理対応ハンドブック ・一般的な危機管理対応ハンドブック			

-----キリトリ線-----

令和7年度 山口市阿知須健康福祉センター 防災講座 申込書

代表者	住 所		地 区	
	フリガナ		年 齢	
	氏 名		電 話 番 号	
同行参加者	住 所		地 区	
	フリガナ		年 齢	
	氏 名		電 話 番 号	
	住 所		地 区	
	フリガナ		年 齢	
	氏 名		電 話 番 号	
	住 所		地 区	
	フリガナ		年 齢	
	氏 名		電 話 番 号	
	住 所		地 区	
	フリガナ		年 齢	
	氏 名		電 話 番 号	